患者さん・ご家族向け解説

医知創造ラボ

パーキンソン病の非運動症状

便秘・睡眠・立ちくらみ・気分の変化と受診の目安

ふるえや
動きにくさ以外の
不調も、病気と
深く
関わっています。

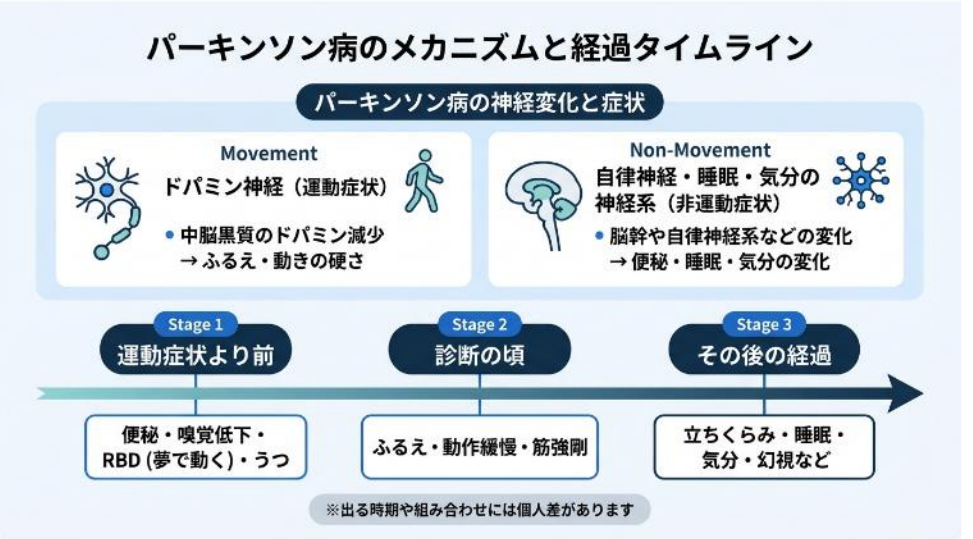
患者・ご家族向け ／ 脳神経内科専門医・指導医 今村久司

出典：パーキンソン病診療ガイドライン2018・難病情報センター

自律神経や睡眠・気分の神経系も変化します。

運動症状の数年〜10数年前、
便秘・嗅覚低下・RBDや
抑うつが先行することがある。

- 気合のせいではなく病気の一部
- 発症前から経過中まで現れうる
- 時期や組み合わせには個人差



非運動症状の仕組みと出現時期の模式図
模式図・左右反転なし

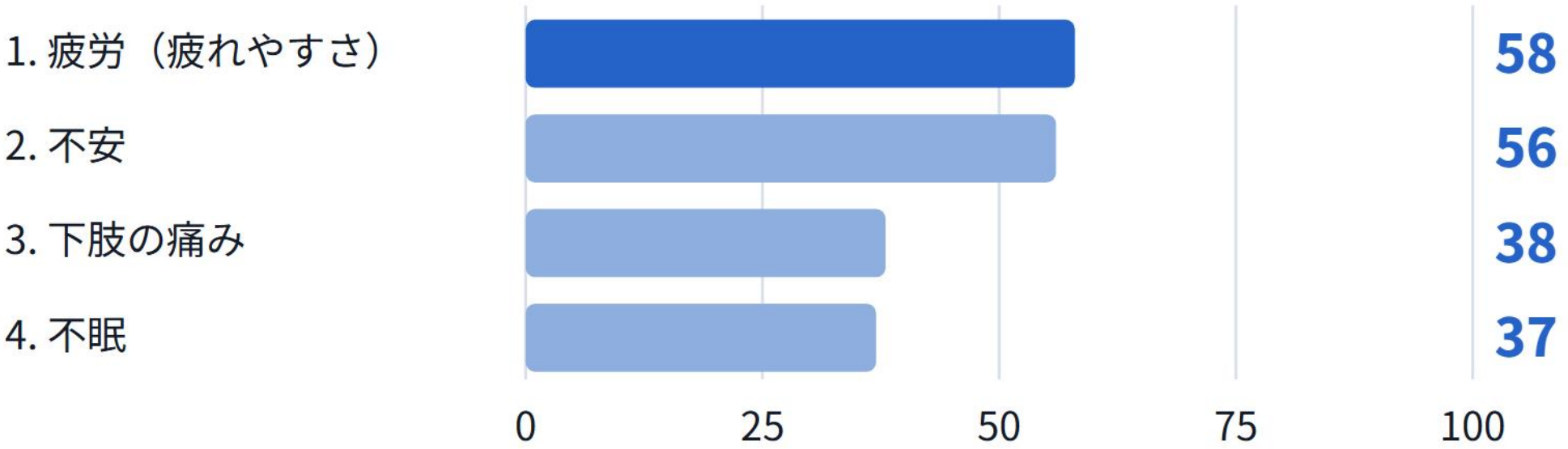
ガイドライン2018・Schapira 2017・Hawkes 2010を基に作成

非運動症状の頻度

医知創造ラボ

1,072人の調査で98.6%にみられました。

単位：% ／ 多施設横断調査（1,072人）



1人あたり平均7.8個。尿意切迫・夜間頻尿は35%。

Barone et al. Mov Disord 2009;24(11):1641-1649（PMID 19514014）

便秘と立ちくらみの特徴と対策。

便秘（8〜9割）

腸の動きが低下

飲み薬（L-ドパ等）の吸収が遅れ、
効き方が不安定になりやすい。

起立性低血圧

立ち上がりの血圧低下

朝や食後・入浴後に起こりやすく、
ゆっくり立ち上がる工夫が大切。

出典：厚労省研究班 療養の手引き・ガイドライン2018

自律神経の症状 ②

医知創造ラボ

夜間頻尿・尿意切迫と、汗・よだれの変化。

過活動膀胱が多く、夜間頻尿や尿意切迫などの
排尿症状は50%以上にみられます。
発汗障害（50〜60%）はオフ時の多汗が目立ちます。

唾液（よだれ）と嚥下の変化

よだれ（流涎）は約80%にみられます。
無意識に飲み込む回数が減り口にたまります。

出典：厚労省研究班 療養の手引き・ガイドライン2018

睡眠の症状 ①

医知創造ラボ

夜間に目が覚める不眠と、夢で動く症状。

中途覚醒・不眠

寝返り困難・足の不快

夜間の薬切れによる寝返り困難や、
夜間頻尿・むずむず脚が関わる。

RBD（夢で動く）

レム睡眠行動異常症

夢に合わせて大声や手足が出る。
ベッド周囲の安全対策が有効。

出典：パーキンソン病診療ガイドライン2018・筑波大学解説

睡眠の症状 ②

医知創造ラボ

日中の強い眠気と、前兆のない突発的睡眠。

夜間の睡眠不足や抗パーキンソン病薬の影響で生じます。

突発的睡眠 前兆なく2〜5分ほど眠り込む

安全対策 自動車運転や危険作業を控える

⚠ **ドパミンアゴニストの開始・増量時は特に注意が必要です。**

出典：ガイドライン2018・難病情報センター・療養の手引き

気分の落ち込みや意欲低下も神経の変化が関与。

抑うつ・不安

患者さんの約40%

気分の落ち込みや強い不安で、
オフ時間帯に悪化しやすい。

アパシー

意欲低下・約40%

悲しみはないが自発性が減る。
本人の怠けではなく病気の症状。

出典：厚労省研究班 療養の手引き・ガイドライン2018

段取りのつけにくさと、夕方に出やすい幻視。

初期には物忘れよりも、考える速さの低下や
複雑な段取りが苦手になる変化（遂行機能障害）が
先に目立ちやすいのが特徴です。

幻視（虫や人が見える）への対応

夕方の薄暗い部屋で見えやすく、否定せず安心させます。
薬の増量や脱水・感染症が誘因となることがあります。

出典：療養の手引き・ガイドライン2018・Ffytche 2017

におい・痛み・疲労と、お薬の4つの注意点。

- ✓ 嗅覚低下は運動症状より前から高頻度にみられる
- ✓ 腰や足の痛み（約50%）・疲労（42%）もオフと関連
- ✓ 買い物・賭博・過食等の衝動制御障害は13.6%に報告
- ✓ 自己判断での急な休薬は悪性症候群の危険があり厳禁

→ 気になる変化が出たときは、薬を止めずに主治医へ相談します。

出典：Weintraub 2010（PMID 20457959）・療養の手引き

診察での伝え方

医知創造ラボ

困っている非運動症状を、主治医に伝える手順。

1 症状を選ぶ

1〜2個に絞る

便秘・眠気など、
一番困るものを選ぶ。

→

2 時間を記録

薬との関係

朝・食後・夜間や、
オフ時間帯かをメモ。

→

3 段階的に調整

主治医と相談

生活環境の工夫と、
お薬の調整を行う。

→ ご家族から見た夜間の寝言・幻視・買い物の変化も大切な情報です。

出典：Pract Neurol 2026（PMID 41381104）・療養の手引き

まとめ

医知創造ラボ

ご視聴ありがとうございました。

チャンネル登録、高評価をよろしくお願いします。

今回の振り返り

非運動症状も病気の
一部として相談を。

お薬の注意点

自己判断での休薬は
危険なため厳禁。

ブログ記事のご案内

13項目チェック表は
概要欄の記事へ。

個々の治療や薬の調整は、主治医とご相談ください。